横浜東部泌尿器科病診連携パス

下部尿路症状症候群／前立腺肥大症：運用マニュアル

H22 年 8 月作成

目次】

Ⅰ．地域連携パスの目的】

下部尿路症状症候群・前立腺肥大の疾患管理が地域ぐるみでできる

疾患管理の標準化

再発・合併症管理の適正化

患者へ医療情報の可視化

Ⅱ．クリニカルパス適応患者】

下部尿路症状症候群（LUTS）、前立腺肥大の患者群

Ⅲ．地域連携パス関連書類

1）パス-　LUTS 泌尿器科専門医から

2）パス-　LUTS かかりつけ医から

3）前立腺肥大診療ガイドライン

4）過活動膀胱病診連携図

5）診療情報提供書は別途準備

Ⅳ．運用方法】

1）パス適応患者に対し説明のうえ、連携パスファイルを準備しわたす

2）泌尿器専門医・かかりつけ医両方から運用開始できる

3）パスシートを挟んだファイルを患者が持って移動すること（基本：医療の可視化）

4）専門医で入院・治療中はパス原本・ファイルも急性期で管理する
地域のかかりつけ医へ移行時、スキャン（A4）とコピー2 部（患者フォルダ・パス管理室）をとり、原本をファイリングして渡す

5）かかりつけ医から紹介で来院（初診）時にもコピーをとる

6）パス管理室分コピーの回収は、週 1 回パス専任がおこなう

Ⅴ．クリニカルパスエンドポイント】

1）同疾患が完治

2）死亡（原因　　）

Ⅵ．重要な管理事項】

1）合併症